# 研究・調査報告書

| 報告書番号 | 担当 |
|---|---|
| 38 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |

**題名（原題／訳）**

Polymorphisms in the dopamine transporter gene (SLC6A3/DAT1) and alcohol dependence in humans: a systematic review.

ドーパミントランスポーター遺伝子(SLC6A3/DAT1)のポリモフィズムと人間のアルコール依存: 系統的レビュー。

**執筆者**

van der Zwaluw CS, Engels RC, Buitelaar J, Verkes RJ, Franke B, Scholte RH.

**掲載誌（番号又は発行年月日）**

Pharmacogenomics. 2009 May;10(5):853-66. Review.

**キーワード**

ドーパミン神経伝達、ドーパミン輸送体、アルコール依存、輸送体(SLC6A3/DAT1)、ポリモフィズム

**要　旨**

ドーパミン神経伝達はアルコール依存にかかわる遺伝要因の検討において重要な鍵となる。ドーパミン神経伝達の神経末端にあるドーパミントランスポーターはSLC6A3/DAT1遺伝子によってコードされており、アルコール依存症の臨床研究において重症な候補遺伝子である。

本論文では DAT1 遺伝子多型とアルコール依存症との関連について検討した１８の研究についての系統的レビューを行った。DAT１タンデムリピート数は DAT1 遺伝子多型で最もよく検討されているがアルコール依存症との直接的な関係については示されていない。複数の研究では DAT1 のタンデムリピート数(９回リピート)はアルコール離脱症状、痙攣やせん妄と関連することが報告されている。

本レビューでは遺伝子関連研究で統計解析力不足、適切な変数を考慮されていないことなどの問題点や遺伝子解析研究における更なる課題についても検討した。